

2024 年度 事業報告書

2024年4月1日から 2025年3月31日まで



公益社団法人日本オリエンテーリング協会

〔Ⅰ〕 法人の概要

当協会は、2012 年 6 月 4 日付けで公益社団法人の認定を受け、同日設立登記を行った。この事業報告は、公益社団法人として第 11 期の事業報告となる。

1. 設立年月日

公益社団法人	2012 年 6 月 4 日
社団法人	1991 年 4 月 26 日
協会設立	1990 年 7 月 1 日

2. 定款に定める目的

この法人は、我が国におけるオリエンテーリングを統括し、代表する団体として、オリエンテーリングの普及及び振興を図り、もってアウトドアスポーツの健全な発展に貢献するとともに、国民の心身の健全な発達に寄与することを目的とする。

3. 定款に定める事業

- (1) オリエンテーリングの普及及び指導に関する事業
- (2) オリエンテーリング競技会の開催及び公認に関する事業
- (3) オリエンテーリングの競技力向上に関する事業
- (4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

4. 会員に関する事項

(1) 会員数

正会員数 計 39 会員 [37 都道府県、日本学連、日本デフ協会]

(2) 指導員登録数・競技者登録数

インストラクタ指導員数	139 名(2023 年度 137 名)
イベントディレクタ指導員数	119 名(2023 年度 103 名)
JSPO コーチ 2 指導員数	22 名(2023 年度 16 名)
JSPO コーチ 1 指導員数	37 名(2023 年度 28 名)
ナビゲーション・インストラクタ	77 名(2023 年度 73 名)
競技者登録数	2223 名(2023 年度 2168 名)
IOF イベント・アドバイザー	9 名(2023 年度 12 名)
イベント・アドバイザー登録数	67 名(准 EA6 名含む)(2023 年度 51 名)

5. 都道府県のオリエンテーリングを統括する会員および団体会員(2024 年度末現在)

北海道オリエンテーリング協会	滝久美子
岩手県オリエンテーリング協会	三ヶ田礼一
宮城県オリエンテーリング協会	岡本和広
秋田県オリエンテーリング協会	小山由男
山形県オリエンテーリング協会	渡辺里香
福島県オリエンテーリング協会	加藤一郎
茨城県オリエンテーリング協会	石井邦一
栃木県オリエンテーリング協会	岡崎良昭
群馬県オリエンテーリング協会	高橋利之
(特非)埼玉県オリエンテーリング協会	福原正三
千葉県オリエンテーリング協会	奥田健史
東京都オリエンテーリング協会	杉本光正
神奈川県オリエンテーリング協会	佐藤信彦
新潟県オリエンテーリング協会	笛木勉
石川県オリエンテーリング協会	不破大仁

福井県オリエンテーリング協会	奥居 稠朗
山梨県オリエンテーリング協会	酒井 寛
長野県オリエンテーリング協会	美谷島 孝
岐阜県オリエンテーリング協会	橋本 八州馬
静岡県オリエンテーリング協会	谷野 守右
(特非)愛知県オリエンテーリング協会	小川 和之
三重県オリエンテーリング協会	小八重 善裕
滋賀県オリエンテーリング協会	大島 健一
京都府オリエンテーリング協会	市橋 国之
大阪府オリエンテーリング協会	北川 達也
兵庫県オリエンテーリング協会	尾上 俊雄
奈良県オリエンテーリング協会	奥野 信亮
和歌山県オリエンテーリング協会	山下 直也
島根県オリエンテーリング協会	森山 健一
岡山県オリエンテーリング協会	千田 博通
広島県オリエンテーリング協会	石川 智章
山口県オリエンテーリング協会	渡邊 正次
徳島県オリエンテーリング協会	林 和志
香川県オリエンテーリング協会	松井 繁成
愛媛県オリエンテーリング協会	河野 忠康
福岡県オリエンテーリング協会	渡辺 智博
宮崎県オリエンテーリング協会	小八重 善裕
日本学生オリエンテーリング連盟	河合 利幸
日本デフオリエンテーリング協会	野中 好夫
＜加盟していない県＞	
青森県、富山県、鳥取県、高知県、長崎県、佐賀県、大分県、熊本県、鹿児島県、沖縄県	

6. 役員等に関する事項(2024 年度末現在) (理事括弧内はブロック選出区域等を表す)

代表理事/副会長(学識)	愛場 庸雅
代表理事/副会長(学識)	村越 真
業務執行理事(学識)	鹿島田 浩二 [競技力、A・D 担当]
業務執行理事(学識)	高島 和宏 [技術、国際担当]
業務執行理事(北海道・東北 B)	信原 靖 [普及指導担当]
業務執行理事(関東 B)	奥田 健史 [主催大会担当]
業務執行理事(学識)	糸 早穂 [総務担当]
理事(関東 B)	皆川 美紀子
理事(関東 B)	佐藤 大樹
理事(北陸信越B)	小林 力
理事(東海 B)	山本 徳子
理事(近畿 B)	市橋 国之
理事(中国・四国・九州 B)	吉村 年史
理事(学識)	茅野 耕治
理事(学識)	加納 尚子
理事(学識)	中野 智美
理事(学識)	野中 好夫
理事(団体)	浴本 悠貴
理事(団体)	遠藤 陽太
理事(団体)	千葉 望央
監事	齋藤 和助(税理士)

監事	中川 義宏(弁護士)
監事	齋藤 宏顕
顧問	野田 聖子
顧問	前田 真理子(大里真理子)
顧問	杉山 隆司
名誉会長	山西 哲郎

7. 事務局に関する事項(2024 年度末現在)
臨時職員 7 名 小野賢二、高村 卓、清水由布子、上松典子、利光恵美、杉本光正、山本賀彦

8. 社員総会、理事会等に関する事項
(1)社員総会

日時 2024 年 6 月 10 日(土)
会場 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 3 階会議室で対面による形式で開催した。
(傍聴、意見交換はオンラインを併用)
議題 審議事項
第1号議案 2023 年度事業報告書案及び財務諸表案の承認
質疑応答後、採決に入った。
賛成 38 名(出席者 15、議決権行使 8、委任状 15(議長委任)、反対 0 名で承認された。

第2号議案 定款の一部訂正の承認

現行	改訂案
(議事録) 第19条 社員総会の議事については法令で定めるところにより、議事録を作成する。 2 議長及び出席した正会員2名以上が署名押印する。 (議事録) 第33条 理事会の議事については法令で定めるところにより、議事録を作成する。 2 議長及び出席した監事は、前項の議事録に署名押印する。 (基本財産の管理) 第36条 この法人の基本財産の管理は、別に定める「基本財産の取扱に関する規程」による (委員等) 第43条 委員は、理事会が推薦し、会長が委嘱する。 2 委員の任期は、2年とする。	(議事録) 第19条 社員総会の議事については法令で定めるところにより、議事録を作成する。 2 出席した代表理事及び正会員2名以上が署名し記名押印する。 (議事録) 第33条 理事会の議事については法令で定めるところにより、議事録を作成する。 2 出席した代表理事及び監事は、前項の議事録に署名し、又は記名押印する。 (基本財産の管理) 第36条 この法人の基本財産の管理は、社員総会において定める「基本財産の取扱に関する規程」によるものとする。 (委員等) 第43条 委員は、理事会が推薦し、会長が委嘱する。 2 委員の任期は、2年を原則とする。

質疑応答後、採決に入った。
賛成 38 名(出席者 15、議決権行使 8、委任状 15(議長委任)、反対 0 名で承認された。

第3号議案 新任理事(日本学連)の承認について
(新任)浴本悠貴(日本学連理事) 遠藤陽太(日本学連幹事長) 千葉望央(日本学連副幹事長)
質疑応答後、採決に入った。
賛成 38 名(出席者 15、議決権行使 8、委任状 15(議長委任)、反対 0 名で承認された。

第4号議案 役員報酬規程改訂の承認

現行	改訂案
(総則) 第1条 この規程は、公益社団法人日本オリエンテーリング協会定款第26条の規程に基づき役員の報酬の支給に関する事項を定める (報酬決定) 第2条 役員は無給とする。ただし常勤理事は有給としその報酬は理事会において決定する。また、監事の報酬は社員総会で決定する。 (報酬額) 第3条 常勤理事の年額報酬は600万円を上限とし、具体的な報酬額の決定に際しては、経験・能力等を考慮して定める。 (支給方法及び支給日) 第4条 常勤役員には毎月20日役員年額報酬の12分の1を月額報酬として支給する。ただし、支給日が休日にあたるときは前日に繰り上げて支給する。報酬額) (通勤手当) 第5条 常勤役員には、別途通勤手当を支給することができる。 (改廃) 第6条 この規程の改廃は、社員総会の決議を経て行う。	(総則) 第1条 この規程は、公益社団法人日本オリエンテーリング協会(以下「JOA」という)定款第26条に基づき役員の報酬の支給に関する事項を定める。 (報酬決定) 第2条 役員は無給とする。ただし次の各号に規定する報酬は受け取れるものとする。 (1) 常勤理事は、理事会において決定する報酬 (2) 監事は、社員総会において決定する報酬 (3) JOA の「旅費規程」に従って支給する旅費 (4) JOA の「謝金規程」に従って支給する謝金 (報酬額) 第3条 前条第1号に定められる常勤理事の年額報酬は 600 万円を上限とし、具体的な報酬額の決定に際しては、経験・能力等を考慮して定める。 (支給方法及び支給日) 第4条 常勤理事および監事の報酬は、毎月 20 日に年額報酬の 12 分の 1 を月額報酬として支給する。ただし、支給日が休日にあたるときは前日に繰り上げて支給する。 (通勤手当) 第5条 常勤理事には、報酬とは別に通勤手当を支給することができる。 (改廃) 第6条 この規程の改廃は、JOA 定款第26条第2項で定めるとおり、社員総会の決議を経て行う。

附 則

- この規程は、公益認定を受け移行の登記をした平成 24 年 6 月 5 日から施行する。
- この規程は、令和6年6月8日改訂、施行する。

質疑応答後、採決に入った。

賛成 38 名(出席者 15、議決権行使 8、委任状 15(議長委任)、反対 0 名で承認された。

(2)理事会 [各理事会の詳細については議事録参照(JOA-WEB 掲載)]

第 43 回理事会

日時 2024 年 5 月 18 日(土) 13:00-17:00

会場 Zoom によるオンライン会議

議題 審議事項

第1号議案 2023 年度事業報告書案、収支決算書の承認および内部監査報告

審議の結果、出席理事総数 17 名のうち賛成 16 名、反対 0 名、棄権 1 名により原案を承認。

第 2 号議案 ジュニア委員会の強化委員会への統合と小委員会化の承認

審議の結果、出席理事総数 17 名のうち賛成 15 名、反対 0 名、棄権 2 名により原案を承認。

第 3 号議案 2024 年度委員会委員の承認

審議の結果、出席理事総数 17 名のうち賛成 16 名、反対 0 名、棄権 1 名により原案を承認。

第 4 号議案 JSC スポーツ団体選手強化活動助成金配分額の承認

審議の結果、出席理事総数 17 名のうち賛成 16 名、反対 0 名、棄権 1 名により原案を承認。

第 5 号議案 日本ランキング規則改定の承認

審議の結果、出席理事総数 17 名のうち賛成 16 名、反対 0 名、棄権 1 名により原案を承認。

第 6 号議案 「パラスポーツ推進委員会準備ワーキンググループ(仮称)」設立の承認

審議の結果、出席理事総数 17 名のうち賛成 16 名、反対 0 名、棄権 1 名により原案を承認。

第 7 号議案 定款改訂を総会上程および各運営規則改訂の承認

審議の結果、出席理事総数 17 名のうち賛成 16 名、反対 0 名、棄権 1 名により原案を承認。

第 8 号議案 認定資格規程および NI 規程改訂と NI 内規制定の承認

審議の結果、出席理事総数 17 名のうち賛成 16 名、反対 0 名、棄権 1 名により原案を承認。

第 9 号議案 会員支援規程改訂の承認

審議の結果、出席理事総数 17 名のうち賛成 16 名、反対 0 名、棄権 1 名により原案を承認。

第 10 号議案 会員支援に関する施行細則改訂の承認

審議の結果、出席理事総数 17 名のうち賛成 16 名、反対 0 名、棄権 1 名により原案を承認。

第 11 号議案 山形県オリエンテーリング協会再入会の承認

継続審議とする

第 12 号議案 委員会規程および委員候補者選考規程改訂の承認。

審議の結果、出席理事総数 17 名のうち賛成 16 名、反対 0 名、棄権 1 名により原案を承認。

第 13 号議案 基本財産規程改訂および細則改訂の承認

審議の結果、出席理事総数 17 名のうち賛成 16 名、反対 0 名、棄権 1 名により原案を承認。

第 14 号議案 表彰規程改訂の承認

審議の結果、出席理事総数 17 名のうち賛成 16 名、反対 0 名、棄権 1 名により原案を承認。

第 15 号議案 倫理規程改訂の承認および危機管理・コンプライアンス委員会規程改定の承認

審議の結果、出席理事総数 17 名のうち賛成 16 名、反対 0 名、棄権 1 名により原案を承認。

第 16 号議案 組織育成費Ⅱ廃止の再承認

審議の結果、出席理事総数 17 名のうち賛成 12 名、反対 0 名、棄権 5 名により原案を承認。

第 44 回理事会

日時 2024 年 8 月 31 日(土) 13:00-17:00

会場 Zoom によるオンライン会議

議題 審議事項

第 1 号議案 旅費規程の改定および海外出張旅費についての内規制定の承認

審議の結果、出席理事総数 17 名のうち賛成 16 名、反対 0 名、棄権 1 名により原案を承認。

第 2 号議案 山形県オリエンテーリング協会再入会について

1) 会員支援金の使用の承認

山形県協会が再入会する際に、入会金未納分 10 万円の清算に会員支援金を使用したい。

「会員支援に関する規程」第 4 条第 3 項による。

2) 山形県協会再入会の承認(第 43 回理事会継続審議)

審議の結果、出席理事総数 17 名のうち賛成 15 名、反対 0 名、棄権 2 名により原案を承認。

第 3 号議案 危機管理・コンプライアンス委員会委員追加の承認

審議の結果、出席理事総数 17 名のうち賛成 16 名、反対 0 名、棄権 1 名により原案を承認。

第 4 号議案 普及・指導委員会委員追加の承認

審議の結果、出席理事総数 17 名のうち賛成 16 名、反対 0 名、棄権 1 名により原案を承認。

第 5 号議案 地域活性化委員会委員追加の承認

- 審議の結果、出席理事総数 17 名のうち賛成 16 名、反対 0 名、棄権 1 名により原案を承認。
- 第 6 号議案 国際委員会委員追加の承認
- 審議の結果、出席理事総数 17 名のうち賛成 16 名、反対 0 名、棄権 1 名により原案を承認。
- 第 7 号議案 地団委員会委員交代の承認
- 審議の結果、出席理事総数 17 名のうち賛成 16 名、反対 0 名、棄権 1 名により原案を承認。
- 第 8 号議案 強化委員会委員追加の承認
- 審議の結果、出席理事総数 17 名のうち賛成 16 名、反対 0 名、棄権 1 名により原案を承認。
- 第 9 号議案 女性委員会委員追加の承認
- 審議の結果、出席理事総数 17 名のうち賛成 16 名、反対 0 名、棄権 1 名により原案を承認。
- 第 10 号議案 スプリント委員会委員追加の承認
- 審議の結果、出席理事総数 17 名のうち賛成 16 名、反対 0 名、棄権 1 名により原案を承認。
- 第 11 号議案 杉山隆司氏顧問推薦の承認
- 審議の結果、出席理事総数 17 名のうち賛成 16 名、反対 0 名、棄権 1 名により原案を承認。
- 第 12 号議案 定款[第 34 条]改訂の次回総会上程の承認
- 審議の結果、出席理事総数 17 名のうち賛成 16 名、反対 0 名、棄権 1 名により原案を承認。
- 第 13 号議案 2024 年度全日本大会事業者発注先の承認
- 審議の結果、出席理事総数 17 名(1 名離席)のうち賛成 15 名、反対 0 名、棄権 1 名により承認。
- 第 14 号議案 パラ委員会設立の承認
- 審議の結果、出席理事総数 17 名のうち賛成 16 名、反対 0 名、棄権 1 名により原案を承認。
- 第 15 号議案 WSOC2026 実行委員会設立の承認
- 審議の結果、出席理事総数 17 名のうち賛成 16 名、反対 0 名、棄権 1 名により原案を承認。
- 第 16 号議案 委員会規定改訂の承認
- 審議の結果、出席理事総数 17 名のうち賛成 16 名、反対 0 名、棄権 1 名により原案を承認。

第 45 回理事会

日時 2024 年 12 月 1 日(日) 13:00-17:00

会場 Zoom によるオンライン会議

議題 審議事項

- 第1号議案 デフリンピック準備委員会 委員会名称変更と委員の追加の承認
- 審議の結果、出席理事総数 15 名のうち賛成 14 名、反対 0 名、棄権 1 名により原案を承認。
- 第 2 号議案 日本ランキング規則改定の承認
- 審議の結果、出席理事総数 15 名のうち賛成 14 名、反対 0 名、棄権 1 名により原案を承認。
- 第 3 号議案 トレイル O 競技規則改定の承認
- 審議の結果、出席理事総数 15 名のうち賛成 14 名、反対 0 名、棄権 1 名により原案を承認。
- 第 4 号議案 WMG2027 と WMOC2027 の併催の条件の承認
- 審議の結果、出席理事総数 15 名のうち賛成 14 名、反対 0 名、棄権 1 名により原案を承認。
- 第 5 号議案 日本ワールドゲームズ協会(JWGA)加盟の承認
- 審議の結果、出席理事総数 15 名のうち賛成 14 名、反対 0 名、棄権 1 名により原案を承認。
- 第 6 号議案 JOA-WMG2027 実行委員会設立と実行委員会規程の改定の承認
- 審議の結果、出席理事総数 15 名のうち賛成 14 名、反対 0 名、棄権 1 名により原案を承認。
- 第 7 号議案 普及・指導委員会委員追加の承認
- 審議の結果、出席理事総数 15 名のうち賛成 14 名、反対 0 名、棄権 1 名により原案を承認。
- 第 8 号議案 委員会規定改定の承認
- 審議の結果、出席理事総数 15 名のうち賛成 14 名、反対 0 名、棄権 1 名により原案を承認。

第 46 回理事会

日時 2025 年 2 月 24 日(月) 13:00-17:00

会場 Zoom によるオンライン会議

議題 審議事項

第1号議案 令和 7(2025)年度事業計画案の承認

「東京 2025 デフリンピックへの選手の派遣」を追記するという修正動議が出され、事業計画案および追記修正動議は、審議の結果、出席理事総数 19 名のうち賛成 18 名、反対 0 名、棄権 1 名により原案を承認。

第2号議案 令和 7(2025)年度予算案の承認(愛場副会長)

審議の結果、出席理事総数 19 名のうち賛成 18 名、反対 0 名、棄権 1 名により原案を承認。

第3号議案 顧問委嘱の承認

審議の結果、出席理事総数 19 名のうち賛成 17 名、反対 0 名、棄権 2 名により原案を承認。

第4号議案 JOA-WMG2027 関西実行委員会委員追加の承認

審議の結果、出席理事総数 19 名のうち賛成 18 名、反対 0 名、棄権 1 名により原案を承認。

第5号議案 競技規則類の3 規程改訂の承認および基準とガイドライン改正の報告

審議の結果、出席理事総数 19 名のうち賛成 18 名、反対 0 名、棄権 1 名により原案を承認。

第6号議案 2025 年度全日本大会(ミドル・ロング)事業者発注先の承認

審議の結果、出席理事総数 18 名のうち賛成 17 名、反対 0 名、棄権 1 名により原案を承認。

第7号議案 第33 回全日本リレー大会運営謝金の理事への支払い承認

審議の結果、出席理事総数 18 名のうち賛成 17 名、反対 0 名、棄権 1 名により原案を承認。

第8号議案 東京 2025 デフリンピック委員会委員の追加の承認

審議の結果、出席理事総数 19 名のうち賛成 18 名、反対 0 名、棄権 1 名により原案を承認。

第9号議案 会員支援に関する各種変更の承認

審議の結果、出席理事総数 19 名のうち賛成 18 名、反対 0 名、棄権 1 名により原案を承認。

第10号議案 基本財産の一部取り崩しを総会に上程する事の承認

審議の結果、出席理事総数 19 名のうち賛成 18 名、反対 0 名、棄権 1 名により原案を承認。

第11号議案 個人情報保護に関する規程類の改訂の承認

審議の結果、出席理事総数 19 名のうち賛成 18 名、反対 0 名、棄権 1 名により原案を承認。

第12号議案 委員会規程および理事の職務権限規程の改訂の承認

審議の結果、出席理事総数 19 名のうち賛成 18 名、反対 0 名、棄権 1 名により原案を承認した。

(3)業務執行理事連絡会 (主たる協議事項)

- | | | | |
|-----|-------------------------------|------------|--------------|
| 第1回 | 2024 年 4 月 30 日(火) | Zoom19:00～ | リモート(Zoom)開催 |
| | 2023 年度事業報告、決算内容の確認、他 | | |
| 第2回 | 2024 年 7 月 12 日(金) | Zoom21:00～ | リモート(Zoom)開催 |
| | IOF 総会での投票の決議について、他 | | |
| 第3回 | 2024 年 8 月 17 日(金) | Zoom21:00～ | リモート(Zoom)開催 |
| | 山形県協会再入会について、他 | | |
| 第4回 | 2024 年 11 月 19 日(火) | Zoom21:00～ | リモート(Zoom)開催 |
| | WMG2027 と WMOC2027 の併催の条件について | | |
| 第5回 | 2025 年 2 月 10 日(月) | Zoom21:00～ | リモート(Zoom)開催 |
| | 来年度事業計画および予算案について | | |

9. Official Partner

株式会社リテラメッド、かなめ測量株式会社、株式会社アークコミュニケーションズ、サルミングジャパン、株式会社デサントジャパン

〔Ⅱ〕 2024 年度の事業

I : 公益に関する事業

1. 関係諸機関・団体との連携および外部団体等への加盟、派遣等事業。
 - 1.1 国際オリエンテーリング連盟 (IOF) に引き続き加盟し、IOF 理事に杉山隆司氏を推薦、2024/7 選挙において IOF 理事に就任した。
 - 1.2 アジアオリエンテーリング協会 (AOA) が発足し、初代会長に村越真氏が就任した。
 - 1.3 国際オリエンテーリング協会 (IOF) 専門委員会に柴田達真氏を派遣した。
 - 1.4 JOC 国際人養成アカデミーを伊地知淳氏が受講し修了した。
 - 1.5 (公財) 日本オリンピック委員会、(公財) 日本スポーツ協会に引き続き加盟した。
 - 1.6 (公財) 日本アンチ・ドーピング機構、(一社) 日本スポーツフェアネス推進機構に引き続き加盟した。
 - 1.7 (一社) 大学スポーツ協会に引き続き加盟した。
 - 1.8 JPSA(日本パラスポーツ協会) 登録および JPC(日本パラリンピック委員会) 加盟への検討については動きが無かった。
2. 社会認知
 - 2.1 国内外のマルチスポーツ大会への新規の採用に対する働きかけは出来なかった。
 - 2.2 会員(都道府県協会)の都道府県スポーツ協会への新規加盟はなかった。

II : 普及・指導に関する事業

1. 指導者養成、資格認定、登録事業
 - 1.1 コーチ養成講習会(集合研修)は夏季・冬季とも申し込み少数のため、中止となった。
 - 1.2 コーチ資格更新研修会を開催した。
 - 2024/7/14(東京) 受講者 6 名
 - 2024/8/25(オンライン) 受講者 8 名
 - 2024/9/1(オンライン) 受講者 5 名
 - 2024/11/2(広島) 受講者 2 名
 - 2024/11/3(広島) 受講者 2 名
 - 2024/12/14(オンライン) 受講者 8 名
 - 2025/1/11(静岡) 受講者 3 名
 - 1.3 ナヴィゲーション・インストラクタ関連講習検定の実施・管理・認証手続きを行った。
 - NI 養成講座 1 回 6/29-30
 - NI 更新講習 2 回 6/29.3/15
 - NI 向け講座 2 回 12/8.1/13
 - NS 講習・検定 シルバー4 回(東京、大阪、埼玉、静岡)、ゴールド 3 回(埼玉、愛知、大阪)
 - 1.4 ナヴィゲーション・インストラクタ養成講習会開催した。
 - ※資格認定 NI 新規登録 18 名、NI 更新登録 6 名
 - 1.5 ナヴィゲーションスキル認定講習会を開催した
 - ブロンズ 134 名 シルバー63 名 ゴールド 46 名を認定。
 - 1.6 ナヴィゲーション・インストラクタ養成講座ハンドブック改定した。
 - 1.7 イベント・アドバイザー講習会を開催した。
 - 第 1 回: R6.11.9-10, 福島県二本松市, 参加者 9 名(更新 5 名, 新規 4 名)
 - 第 2 回: R7.2.1-2, 兵庫県神戸市, 参加者 18 名(更新 13 名, 新規 4 名, 受講のみ 1 名)
 - 1.8 イベントディレクタ認定試験を行った。
 - 2024 年 9 月期: 受講者 4 名, 合格 2 名
 - 2025 年 3 月期: 受講者 8 名, 合格 7 名
2. 常設コース (パーマネントコース) 事業
 - 2.1 会員および行政機関、企業等からの新規パーマネントコース設置申請は無かった。
 - 2.2 指導・普及委員会による常設コース情報の整備及び活用方法、時代環境に合わせた再構築の検討

が開始された。

2.3 ネットプリントの推進を図る活動は現状維持にとどまった。

3. 距離認定表彰(100キロコンペ)事業

3.1 オリエンテーリング 100 キロコンペ大会の認定を申請に基づき認定を行った。

3.2 オリエンテーリング 100 キロコンペの参加申請に対して走歩距離の認定を行い、一定距離毎に表彰を行った。

3.3 2025 年度からの 100km コンペ認定料改訂案内(200 円/件から 500 円/件)を行った。

4. 普及及び受託事業

4.1 普及に関する研修会・講習会を開催出来なかった。

4.2 退会状態となっていた県組織(山形県)に対し、情報活動を行うとともに、加盟への働きかけと指導を行い、(2024 年 8 月 31 日から)再加盟とした。

4.3 民間企業等からの受託事業の推進の活動は出来なかった。

4.4 野外活動施設、民間企業への普及活動は現状維持にとどまった。

4.5 ワールドオリエンテーリングウィークを絡めた学校教育への新たな導入への方策検討は出来なかった。

4.6 地域クラブの活性化支援に向けての新規の活動は出来なかった。

4.7 高校登山部への技術指導活動は、神奈川県高体連と計画したが台風により中止となった。

4.8 大学教育への取り入れについて調査研究と情報提供は出来なかった。

4.9 ロゲイニング協会の JOA 加盟に向けての活動は継続した。

4.10 Mountain Marathon 形式の普及活動は京都府協会と連携し開催計画を進めた。

5. 広報

5.1 年 2 回の JOA ニュースの編集、発行を行った。

5.2 2か月に 1 回の理事会・事務局便りの発行を行った。

5.3 JOC の「スポーツと環境」フォーラムに参加し、全日本リレー大会のテクニカルミーティングで環境のための啓発活動を行った。

5.4 一般マスメディアでオリエンテーリングについて発信された情報を、JOA ホームページ上の「マスメディア情報」としてまとめて発信した。

6. 地域活性化委員会活動

6.1 各地区からの助成金申請への対処

各会員から提出される助成金申請に対する審査、回答書案を作成した。

6.2 地域懇談会

各会員と JOA 執行部と 1 対 1 の懇談会を行い、より密な関係を築くべく、石川県協会、福井県協会、滋賀県協会と懇談会(オンライン意見交換会)を開催した。

6.3 会員支援制度の改善

支援額の逆進性などを考慮した支援制度を理事会へ提案し規程を改訂した。また、支援金申請手続きについて、会員の負担軽減を考慮した案を理事会へ提案し、規程、細則を改訂した。

なお、ふるさと登録を活用した地域支援策については、議論は進めたが、全日本リレー規程等との関係が複雑なため再度検討することとした。

6.4 モデル事業「九州地区活性化」

ひきつづき、九州をモデルとした、1 県 1 会活動を推進した。

2024 年度は以下を行った。

・福岡県協会の大会(今宿)の開催支援

・長崎県常設オリエンテーリングコースを活用した地図読み講習会開催

また、この活動を四国地方にも広げるべく、まずは徳島県協会を訪問し、現状の課題やお考えを伺った。

Ⅲ：競技会の開催及び公認に関する事業

1. 主催大会

1.1 国内に於いて次の大会を主催した。

- | | | | |
|-------------------------------|-------------|-----|---------|
| ・第13回全日本オリエンテーリング選手権大会ミドル競技 | 2024年10月19日 | 岐阜県 | [WRE対象] |
| ・第51回全日本オリエンテーリング選手権大会ロング競技 | 2024年10月20日 | 岐阜県 | [WRE対象] |
| ・第33回全日本リレーオリエンテーリング選手権大会 | 2024年12月8日 | 三重県 | |
| ・第13回全日本スキーオリエンテーリング選手権大会 | | | |
| スプリント、スプリントリレー | 2025年3月1日 | 北海道 | |
| パシュート(ミドル) | 2025年3月2日 | 北海道 | |
| ・第16回全日本トレイルオリエンテーリング選手権大会 | 未開催 | | |
| ・第17回全日本オリエンテーリング選手権大会スプリント競技 | 中止 | | |

2. 公認大会

- 2.1 2024年9月16日開催。千葉大学オリエンテーリング部創部50周年大会
2024年12月15日開催。京都OLC50周年記念大会
の公認大会申請を受け、競技規則に基づいて認定を行った。

3. ランキング

- ### 3.1 日本ランキング(対象競技:フット O)を継続対応した。

4. 国際大会の開催

- 4.1 ワールドランキングイベントを開催した。(全日本ミドル、ロングおよびしたらフェス大会)
- 4.2 2026 年世界スキーオリエンテーリング選手権大会の準備を進めた。
- 4.3 東京 2025 デフリンピックにおけるオリエンテーリング競技の準備を進めた。
- 4.4 ワールドマスターズゲームズ(WMG)2027 関西におけるオリエンテーリング競技の準備を進めた。併せて WMOC2027 の併催が決定した。
- 4.5 AsJYOC2025 の準備を進めた。
- 4.6 スポーツ庁に対して冬季国際大会の開催要件についての要望書を提出した。

5. その他の競技会

- 5.1 ナヴィゲーションゲームズ 2024 を賛同する団体と共催し開催した。

6. 賠償責任保険及び傷害保険

- 6.1 賠償責任保険適用の申請は無かった。
- 6.2 傷害保険適用申請は 17 件あった。
(2024/3/31 現在の保険金支払い実績は 48,100 円。但し 17 件中 11 件は継続対応中)

7. 規程・規則

- 7.1 オリエンテーリング競技に関する規則類を、競技の実情を見ながら適宜更新した。

8. 競技者登録

- ### 8.1 競技者登録を、会員からの連絡とJapan-O-entryを活用し登録を行った。

9. 地図委員会担当事業

- 9.1 EA 講習会での地図図式、地図調査技術についての説明を行った。

10. 競技委員会担当事業

- 10.1 規程類の保守: 競技規則およびガイドライン, 全日本大会エリートクラス出場資格規則および推薦基準, 公認大会に関する規則の改正を行った。

- 10.2 公認大会の認可, イベント・アドバイザーの任命, E クラス出場推薦審査及び記録の認定を行った。
神奈川県から1名の競技者のEクラス推薦出場の申請があり, 推薦出場を認めた。

11. 全日本大会実行委員会担当事業

- 11.1 2024年度全日本大会(ミドル・ロング)を開催した。
日付:2024年10月19,20日、場所:岐阜県恵那市「望郷の森」
参加者数:2日間合計2,083名(ミドル1,050名、ロング1,033名)
- 11.2 日本ランキング(フォレスト)の運用を継続して実施した。
- 11.3 日本ランキング規則について規則制定・改定を実施した。
- 11.4 全日本大会エリートクラス出場資格規則について、競技委員会と連携して規則改定を行った。
- 11.5 次年度以降の全日本大会(ミドル・ロング)開催計画を策定した。

12. スプリント委員会担当事業

- 12.1 2024年度全日本オリエンテーリング選手権大会(スプリント競技部門)の開催準備
東京都練馬区光が丘地区での開催に向けて準備を進めていたが、渉外上の問題により開催を断念した。その後、別大会での併催を模索し、新潟県新潟市越前浜地区における新潟大学オリエンテーリングクラブの「越前浜スプリント」大会での併催を目指したが、こちらも渉外上の問題により断念した。
開催地を変えての年度内の開催は困難だと判断し、2024年度大会の中止を決定した。
- 12.2 日本ランキングの実施、運用
全日本大会実行委員会の協力のもと、日本ランキング(スプリント)の運用を行った。

13. 全日本リレー委員会活動

- 13.1 日本スポーツ協会にて出されている国民スポーツ大会の2031年までは、その時の開催県に沿って全日本リレー大会を開催していく予定とした。

IV:競技力向上に関する事業

1. 世界選手権への選手派遣等

- 1.1 WOC[2024年7月12日～16日 イギリス]へ選手・役員を派遣した。
- 1.2 JWOC[2024年6月30日～7月7日 チェコ]へ選手・役員を派遣した。
- 1.3 WCup[2024年5月25日～26日 スイス]、[6月1日～2日 イタリア]、[8月17日～20日 ハンガリー]、
[9月27日～29日 フィンランド]へ選手を派遣した。
- 1.4 WUOC[2024年8月1日～5日 ブルガリア]へ選手を派遣した。
- 1.5 AsOC、AsJYOC[2024年12月24日～30日 タイ]へ選手を派遣した。
- 1.6 WMTBOC [2024年9月9日～16日 ブルガリア] へ選手を派遣した。
- 1.7 SKIOWCUP [2025年2月14日～2月17日 ドイツ] へ選手を派遣した。

2. 2024年6月10日、JSOSビルで壮行会を開催した。

3. 選手強化事業「強化委員会」

下記日程、場所で選考会、JOA合宿等を開催した。:

- 4月7日(日) JWOC、WUOC 選考会 静岡県
- 4月13日(土)、14日(日) フォレスト練習会 長野県、山梨県
- 4月27日(土)～29日(祝・月) JOA合宿 静岡県
- 5月3日(祝・金) WOC 選考会 秋田県
- 6月1日(土)～2日(日) JOA合宿 山梨県
- 6月8日(土)日本代表チーム壮行会 東京都
- 7月20日(土)～21日(日) デブ選手強化合宿 山梨
- 8月10日(土)～12日(月) ジュニア向け合宿 静岡県
- 10月12日(土)～14日(祝・月) ジュニア強化合宿 愛知県

11月3日(土),4(日) デフ選手練習会 東京都
 11月11日(月) 日本代表チーム世界選手権等報告会 (Zoom による web 開催)
 11月23日(土)～24日(日) JOA 合宿 静岡県
 12月9日(月) シニアチーム夏の遠征 情報共有会 (Zoom による web 開催)
 12月14(土) デフ選手練習会 東京都
 12月28日(土)～30日(月) ジュニア向け合宿 静岡県
 2025年1月4日(土)～5日(日) 日本学連合宿 栃木県
 1月11日(土)～13日(祝) デフ選手合宿 東京都
 1月25日(土) デフ選手練習会 東京都
 2月9日(日) デフ選手練習会 東京都
 2月15日(土)～16日(日) デフ選手合宿 静岡県

4. 選手強化事業「スキーO」

- 4.1 強化合宿の開催(残雪期、夏期、秋期、冬期)×6回程度→合計13回実施した。
 4.2 オンラインセミナー(地図読み会など)を有志メンバーで実施。地図読み力向上と遠方に住む選手同士のチームビルディング。
 4.3 強化計画策定支援
 強化委員が選手と面談を行い、練習計画策定の支援を行った。

5 選手認定および強化事業「トレイルO」

・2025年度世界選手権に向けた代表選手選考

日本代表選手募集要項を作成し、Japan-O-entrYを通して募集を行った。ジュニア枠の周知にも努め、ジュニア2名を含む27名が希望者登録を行った。また、選考会として4大会を指定した。

6 選手強化事業「MTBO」

下記の合宿、練習会を開催した。

日時	内容	場所	日時	内容	場所
3月30日	MTBOトレ	静岡県浜松	7月20日	MTBOトレ	滋賀県湖南市石部
4月27日	MTBOトレ	山梨県笛吹市	7月20日	MTBOトレ	千葉県印西市
4月28日	MTBOトレ	山梨県山梨市	7月21日	MTBOトレ	滋賀県湖南市
4月28日	MTBライド	愛知県岡崎市	7月21日	MTBOトレ	千葉県野田市
4月29日	MTBライド	愛知県瀬戸市	7月27日	MTBOトレ	長野県富士見市
5月3日	MTBOトレ	岐阜県恵那市	7月28日	MTBOトレ	山梨県南アルプス市
6月22日	MTBOトレ	滋賀県湖南市	8月3日	MTBOトレ	長野県茅野市蓼科
6月23日	MTBOトレ	滋賀県長浜市	8月4日	MTBOトレ	長野県茅野市蓼科
7月6日	MTBOトレ	静岡県掛川市	8月10日	MTBOトレ	長野県富士見市
7月7日	MTBOトレ	静岡県掛川市	8月11日	MTBOトレ	山梨県南アルプス市
7月13日	MTBOトレ	静岡県御殿場市	8月12日	MTBOトレ	山梨県南アルプス市
7月14日	MTBOトレ	静岡県沼津市	8月17日	MTBOトレ	山梨県山梨市牧丘
7月15日	グループライド	静岡県伊豆の国市	8月18日	MTBOトレ	山梨県笛吹市

7. スポーツ助成等への申請

- 7.1 (独法)日本スポーツ振興センターのスポーツ振興基金助成に応募し、選手強化活動、競技会活動を実施した。

7.2 toto 補助金事業に応募し、普及活動、指導者育成活動、アンチ・ドーピング活動を実施した。

8. アスリート委員会活動

- ・全日本選手権の推薦審査基準について(主に競技委員会と調整)
- ・AsOC 選考方法について(主に強化委員会と調整)

について、選手からの意見・照会に対して、選手目線での意見をまとめ、関係委員会と調整することで、アスリート委員会の理念とミッションに基づいた基準や選考の作成に寄与した。

V:その他目的達成に必要な事業

1. 組織と財政基盤の強化

- 1.1 財政の健全化のための諸方策を継続検討した。
- 1.2 寄付金募集事業を行った。
- 1.3 賛助会員制度の有効利用活動は行えなかった。
- 1.4 オフィシャルスポンサー及びオフィシャルサプライヤーの新規開拓はできなかった。
- 1.5 組織の効率的な運営のため委員会の一部再編を行った。
- 1.6 事務局の組織強化についての具体的な活動は行えなかった。
- 1.7 組織の将来構想検討についての具体的な活動は行えなかった。
- 1.8 ガバナンスコード遵守対応の自主報告を行った。
- 1.9 中期事業計画に対する中間自己評価を行い、公表した。

2. アンチ・ドーピング委員会活動

2.1 ドーピング検査

全日本ミドル・ロングで検査を実施した。

2.2 下記講習会を実施した

(1)アンチ・ドーピング研修会

日時:6月19日 20:00-21:00

対象:日本代表候補選手

講師:石井規之

(2)イベント・アドバイザー講習会

開催日:11月10日、2月1日

対象:イベント・アドバイザー

場所:オンライン

講師:伴

(3)Eラーニング受講

対象:インカレ個人選手権クラス出場選手(担当:西嶋)

アジア選手権出場選手(強化委員会協同)

2.3 日本アンチ・ドーピング機構の協力を仰ぎ教育啓発活動をおこなった

2.4. 選手への助言

選手からの問い合わせに対して薬の服用について助言をした。

2.5 会議への出席

(1)2027 年版 世界アンチ・ドーピング規程および国際基準 (First Draft Paper) 関係団体向け説明会(8月19日)

(2)2024 年度アンチ・ドーピング教育会議(11月6日)

2.6 他団体への協力

日本スポーツフェアネス機構、日本アンチ・ドーピング機構と連携し国内でのアンチ・ドーピング活動に協力した。

3. 危機管理・コンプライアンス委員会活動

3.1 【危機対応】

競技者登録者間のトラブルについて、対応を検討した。

3.2 【安全管理】

ホームページ上の「安全ガイド」を継続した。

3.3 【コンプライアンス】

役員、委員、職員、指導者等を対象としたコンプライアンス研修会を開催した。

「動画視聴」→「アンケート提出」の形式で、2025 年 2 月～3 月に行った。

4.デフリンピック委員会活動

東京 2025 デフリンピック準備運営本部との関係

- ・協定書を結び、東京 2025 デフリンピックのオリエンテーリング競技部分を JOA が担当することになった。
- ・協定書に基づいた業務を行うにあたり、2024 年度分と 2025 年度分の見積書を提出した。
- ・ミーティングを何度も行い、計画に対するアドバイスや提案を行った。
(対面打合せ、現地立ち合い、視察対応、オンラインミーティング、メールによる情報交換)
- ・準備運営本部が地図修正を発注するにあたり、助言を行った。
- ・東京 2025 デフリンピックオリエンテーリング担当の SD (Sports Director) 視察に帯同し、SD を現地案内し話し合いを行った。(2024 年 10 月 30 日-11 月 1 日)
- ・Bulletin1 案を作成した。Bulletin1 はデフリンピック各国選手団用に公開されている場所に掲載された。(2025 年 1 月)
- ・協定書における東京 2025 準備運営本部の担当分を(株)日テレイベンツが担当することが決まり、日テレイベンツとの打ち合わせ業務が始まった。(2025 年 3 月)
- ・大会時の競技運営者の内容・人数・宿泊規模の要望を準備運営本部に提出した。(2025 年 3 月)

5.WMG2027 委員会活動

- ・5 月に WMOC2027 と WMG2027 の併催が内定したことを受けて、WMG2027 組織委員会や地元自治体との調整を行った。
- ・WMG2027 機運醸成事業(海外でのチラシの配布など)を行った。

【その他】

1．日本スポーツ振興基金助成金報告「助成金確定報告から」

スポーツ団体選手強化活動助成(基金)	交付決定額	計
①フットOジュニア世界選手権大会派遣	430,000	2,000,000
②デフ選手強化活動	200,000	
③フットO世界選手権大会(フォレスト)派遣	430,000	
④スキーO 世界選手権選手派遣	470,000	
⑤MTB-O 世界選手権派遣	470,000	
スポーツ団体大会開催助成(基金)	交付決定額	計
① 2024 年度全日本オリエンテーリング大会(スプリント)	2,000,000	4,000,000
② 第 33 回全日本リレーオリエンテーリング大会	2,000,000	
スポーツ団体スポーツ活動助成(くじ)	交付決定額	計
① スキーオリエンテーリング講習会	2,183,000	6,321,000
② スキーオリエンテーリング指導者養成講座	2,556,000	
③ マウンテンバイクオリエンテーリング競技体験および講習会	984,000	
④ ドーピング防止啓発活動推進	523,000	
⑤ ドーピング検査	53,000	
	合計	12,321,000

- ・世界選手権等への派遣・強化活動事業を日本スポーツ振興センターの助成申請を行い実施した。
- ・2024 年度日本スポーツ振興基金の助成金は以上のように決定し活動を行った。
- ・選手強化活動の交付額の配分については、事業計画に基づいて行う。

2. 寄附金募集事業活動

寄付金等

- ・2024 年度(2024/4 月-2025/3 月) 寄附金総額 6,715,862 円となった。(会員支援金含む)
- ① オフィシャルスポンサー協賛金総額 900,000 円(内 10%の 90,000 円は一般寄付金に振分け)
株式会社リテラメッド、かなめ測量株式会社、株式会社アークコミュニケーションズ
- ② 一般寄付者一覧(敬称略、順不同) 寄付金総額 3,205,962 円(ポスタル寄付を含む)
特定非営利活動法人トレイル・オリエンテーリング協会、株式会社リテラメッド、山岸倫也、高橋明美、伊藤好信、伊藤伸悟、小林岳人、浦瀬香子、浦瀬太郎、鈴木 紀夫、八田 俊一郎、小林二郎、齋藤宏顕、コントローラユニオン会員一同(船橋 昭一)、市川幸次、岡野英雄、宮城島俊太、加藤高男、寺嶋一樹、佐々木はるみ、静岡県オリエンテーリング協会、円井 基史、大里真理子、河本真由子、古津和夫、日向 繁、村越 真、大塚ふみ子、大塚校市、松尾健一、鷹取 敦 (他匿名延べ 5 名)
- ③ 新宿区わがまち応援支援金一覧(敬称略、順不動)総額 1,106,000 円 2023/1 月～12 月分
棚橋是之、愛場庸雅、前田真理子、牧ヶ野敏明、鹿島田浩二、久米葉子、小幡睦、徳永良一、佐々木はるみ
- ④ 会員支援金
全日本、公認大会、地図販売支援(滋賀県協会、兵庫県協会)により会員支援金総額 1,503,900 円
(ミドルロング 682,000、リレー 304,000、スキー 39,000、公認 316,000、地図販売 162,900)

3. 表彰に関する事項

2024 年度 JOA 表彰は、石川県オリエンテーリング協会推薦の森田 輝雄氏の 1 名を表彰した。

4. 会員との交流

- ・対話集会を開催した。
- 2024 年 6 月 10 日 定期総会会場でオンラインも交え開催した。

略称に関する注釈

大会名

AsOC アジア選手権(フット O)
AsJYOC アジアジュニアユース選手権(フット O)
AsTOC トレイル O アジア選手権
EYOC ヨーロッパユーススキー O 選手権
JWOC ジュニア世界選手権(フット O)
JWSOC ジュニアスキー O 世界選手権
WCup ワールドカップ(フット O)
WMG ワールドマスターゲームズ
WMOC マスターズ世界選手権(フット O)
WMTBOC マウンテンバイク O 世界選手権
WOC 世界選手権(フット O)
WTOC トレイル O 世界選手権
WUOC 世界学生 O 選手権

関係機関ほか

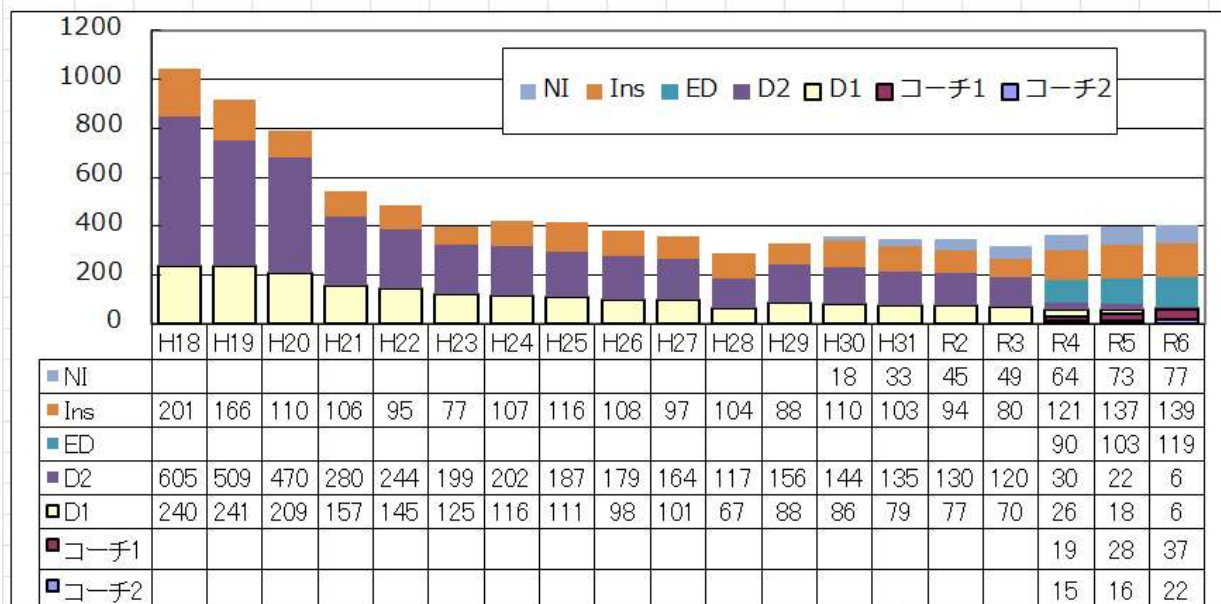
IOF 国際オリエンテーリング連盟
JADA 日本アンチ・ドーピング機構
JSC 日本スポーツ振興センター
J-Fairness 日本スポーツフェアネス推進機構
JSPO 日本スポーツ協会
JOC 日本オリンピック委員会
WSOC スキー O 世界選手権
WUSOC 世界学生 SKI-O 選手権

UNIVAS 大学スポーツ協会

年度別認定資格者数

D1、D2は2024/9末現在

西暦	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
年度	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6
コーチ2																	15	16	22
コーチ1																	19	28	37
D1	240	241	209	157	145	125	116	111	98	101	67	88	86	79	77	70	26	18	6
D2	605	509	470	280	244	199	202	187	179	164	117	156	144	135	130	120	30	22	6
ED																	90	103	119
Ins	201	166	110	106	95	77	107	116	108	97	104	88	110	103	94	80	121	137	139
NI													18	33	45	49	64	73	77
合計	1046	916	789	543	484	401	425	414	385	362	288	332	358	350	346	319	365	397	406



年度別競技者登録者数

年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6
男性	1246	1565	1556	1589	1667	1733	1719	1391	1623	1674	1616	1636
女性	337	563	535	565	573	579	587	454	560	580	552	587
総計	1583	2128	2091	2154	2240	2312	2306	1845	2183	2254	2168	2223
一般	653	716	671	619	655	578	724	642	743	785	757	667
内、学生	711	1239	1245	1290	1345	1392	1358	975	1175	1231	1139	1345
内、U18	93	90	75	148	119	225	105	93	94	94	146	125
内、U15	126	83	100	97	121	117	119	135	171	144	126	86

